



シングル チャネル64Bit/66MHz
Wide Ultra3 SCSIアダプタ
インストール ション ガイド

第2版 (2000年8月)
製品番号 154060-192
コンパックコンピュータ株式会社

ご注意

©2000 Compaq Computer Corporation.
©2000 コンパックコンピュータ株式会社

QVisionは、米国Compaq Computer Corporationの登録商標です。

Compaq、Compaq Insightマネージャ、ROMPaqおよびSmartStartは、米国Compaq Computer Corporationの商標です。

SoftPaqは、米国Compaq Information Technologies Group, L.P.の商標です。

Microsoft、MS-DOS、WindowsおよびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の使用の結果生じるあらゆるリスクはお客様負担となります。いかなる場合もコンパックは、直接損害、結果損害、付随的損害、特別損害、懲罰的損害その他いかなる損害（業務上利益の逸失、業務の中断、業務情報の喪失から生じる損害を含むがこれらに限られません）についても何らの責任も負担しません。コンパックが当該損害の発生の可能性について知らされていた場合でも、また、過失を含め、契約上の行為または不法行為のいずれによる損害についても、同様にコンパックは何らの責任も負担しません。

コンパック製品に対する限定保証は、当該製品に付属の資料に記載されたものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証を拡張するものではなく、また新たな保証を追加するものではありません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

Compaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ
インストール ガイド
第2版（2000年8月）
製品番号 154060-192

目次

このガイドについて

表記上の規則	vi
本文中の記号	vii
装置の記号	vii
困ったときは	viii
コンパックのWebサイト	viii
コンパック カスタマーセンター	viii

第1章

はじめに

特長	1-1
Wide Ultra3 SCSIサポート	1-2
PCIローカル バス	1-2
SCSIコネクタ	1-3
SCSI ID	1-4
複数のアダプタのインストール	1-4
SCSIターミネーション	1-4
SCSIケーブル	1-5
SCSIケーブルのコネクタ	1-6

第2章

Compaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタのインストール

必要な工具	2-1
サーバの準備	2-2
サーバのカバーを開ける	2-2
シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタのインストール	2-2

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの接続.....	2-3
外部SCSI接続.....	2-3
内部SCSI接続.....	2-4
インストールの完了	2-7
ファームウェアの更新とドライバのインストール.....	2-7

第3章

ファームウェアおよびソフトウェアのインストール

システムROMの更新	3-1
ROMPaqディスクット	3-2
System ROMPaqの実行	3-2
ドライバのインストール	3-4
Windows NT 3.51または4.0	3-4
Windows 2000.....	3-5
SCO UnixWare 7.x.....	3-6
SCO OpenServer 5	3-6
Novell NetWare 5.1.....	3-9
IBM OS/2	3-10

付録A

規定に関するご注意

各国別勧告	A-2
Federal Communications Commission Notice (米国)	A-2
Class A Equipment	A-2
Class B Equipment	A-3
Declaration of Conformity for Products Marked with FCC Logo, United States only	A-3
Modifications.....	A-4
Cables	A-4
Canadian Notice (Avis Canadien) (カナダおよびカナダ、フランス語使用地域)	A-4
Class A Equipment	A-4
Class B Equipment	A-4
European Union Notice (欧州)	A-5
Taiwanese Notice (台湾)	A-5

付録B

静電気対策

アースの方法	B-2
--------------	-----

索引

このガイドについて

このインストール ガイドでは、Compaq StorageWorksシングル チャネル 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタのインストールとアップグレード手順を順番に説明します。



警告: 高電圧による感電の危険を防止するために、この装置のインストールは、必ず、コンパック正規保守サービス会社にご依頼ください。インストールを開始する前に、コンピュータに付属の安全上の注意事項およびユーザドキュメンテーションを参照してください。

多くのサーバやワークステーションで、危険な高電圧が発生する可能性があります。修理をする場合は、サービス認定を受けたコンパック製品販売店またはコンパック正規保守サービス会社におまかせください。感電の危険を防止するためにカバーやインターロックが取り付けられている場合は、カバーを取り外したり、インターロックを無効にしたりしないでください。

表記上の規則

このガイドでは、以下の表記規則を採用しています。

キー	Enter や F10 などのキーの名前は、太字で、先頭の文字だけを大文字で表記します。2つのキーの間の正符号(+)は、それらのキーを同時に押さえなければならないことを示します。
ユーザ入力	別の字体の大文字で表記します。
ファイル名	イタリック体の大文字で表記します。
メニュー オプション、 コマンド名、 ダイアログ ボックス名	[]で囲み表記します。
コマンド ディレクトリ名 およびドライブ名	すべて大文字で表記します。
タイプ	「タイプしてください」と指示されている場合、キーボードから情報を入力した後に Enter キーを押す必要はありません。
入力	「入力してください」と指示されている場合、情報を入力した後に Enter キーを押します。

本文中の記号

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告: その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがある警告事項を表します。



注意: その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがある注意事項を表します。

重要: 詳しい説明や具体的な手順を示します。

注: 解説、補足または興味深い情報を示します。

装置の記号

安全上の注意が必要な装置の各部には、以下の記号が表示されています。



装置の表面または内部部品に触れると感電の危険があることを示します。カバー内には、一般のユーザが修理できる部品は入っていません。

警告: 感電を防止するために、このカバーを開けないようにしてください。



これらの記号が貼付されたRJ-45コネクタはネットワーク インタフェース接続用であることを示します。

警告: 感電、火災または装置の損傷を防止するために、電話または電気通信用のコネクタをこのコネクタに接続しないようにしてください。



装置の表面または内部部品の温度が非常に高くなる可能性があることを示します。この表面に手を触れるとやけどをする場合があります。

警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、システムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



電源システムにこれらの記号が付いている場合、装置の電源が複数あることを示します。

警告: 感電しないように、電源コードをすべて抜き取ってシステムの電源を完全に切ってください。

困ったときは

問題が発生し、このガイドの情報だけでは解決できない場合、次のところから詳細な情報やその他のヘルプ情報を入手できます。

コンパックのWebサイト

コンパックのWebサイトでは、Compaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの情報および最新のドライバやフラッシュROMに関する情報を提供しています。コンパックのWebサイト（<http://www.compaq.co.jp/>または<http://www.compaq.com/>）にアクセスするには、インターネットにログオンする必要があります。

コンパック カスタマーセンター

コンパックのフリーダイヤル（全国どこからでも無料です）のホットラインで、各種の技術的なご質問にお答えしておりますので、ご利用ください。

コンパック カスタマーセンター

電話番号



0120-101589

ご利用時間帯

月曜日～金曜日

9:00～12:00 および 13:00～17:00

（祝祭日、コンパック指定休日を除く）

とってもいいねコンパック

第1章

はじめに

Compaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ™には、1つのLVD（低電圧ディファレンシャル）SCSIチャネルがあり、サーバ側のPCI（Peripheral Component Interface）ローカル バスに対し直接インタフェースし、最大15台までのSCSIデバイスを接続できます。このアダプタは、業界標準のインタフェースとプロトコルをサポートします。シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタは、Wide Ultra3 SCSI、Wide Ultra2 SCSI、Wide-Ultra SCSI-3、Fast-Wide SCSI-2およびFast-SCSI-2デバイスなどのすべてのSCSIデバイスで使用できます。

特長

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの特長は次のとおりです。

- 32ビットのユニバーサルPCIおよび64ビットのユニバーサルPCIをサポート
- 33MHz PCIおよび66MHz PCIをサポート
- 160MB/秒のデータ転送速度を提供するWide Ultra3 SCSI、16ビット、40MHzのバスをサポート
- Wide Ultra3 SCSI、Wide Ultra2 SCSI、Wide-Ultra SCSI-3、Fast-Wide SCSI-2およびFast-SCSI-2デバイスの自動検出とこれらのデバイスとの通信
- Wide Ultra3 SCSI、Wide Ultra2 SCSI、Wide-Ultra SCSI-3、Fast-wide SCSI-2をサポートする68ピンWide LVD SCSI内部コネクタ1個を装備
- Wide-Ultra SCSI-3およびFast-wide SCSI-2をサポートする68ピンWideシングル エンド（SE）SCSI内部コネクタ1個を装備

1-2 Compaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ インストレーション ガイド

- Wide Ultra3 SCSI、Wide Ultra2 SCSI、Wide-Ultra SCSI-3およびFast-Wide SCSI-2をサポートする68ピンWide SCSI外部コネクタ1個を装備
- 低速デバイスをサポートする50ピンNarrow SCSI内部コネクタ1個を装備

Wide Ultra3 SCSIサポート

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタは、すべてのコンポーネントがWide Ultra3対応の場合、64ビットのPCIバス マスタ動作と最高160MB/秒のSCSIデータ転送速度を提供します。この組み合わせで使用した場合、リソースの共有、データベース サービスおよびハイ パフォーマンスのバックアップ ソリューションなど数多くのネットワーク アプリケーションで高いスループットを可能にします。

さらに、シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタは、タグ付きコマンド キューイングもサポートします。これを使用することによって、SCSIハードディスク ドライブは、複数のコマンドを待ち行列に入れてソートした後、コマンドを同時に実行できます。

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタはANSI SCSI-3規格に準拠し、Wide Ultra3 SCSI、Wide Ultra2 SCSI、Wide-Ultra SCSI-3、Fast-Wide SCSI-2およびFast-SCSI-2デバイスをサポートします。このため、シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタだけで数種類の異なるSCSIデバイスをサポートできます。

PCIローカル バス

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタとサーバのプロセッサのインタフェースは、PCIローカル バスです。PCIバスは、アドレスとデータの信号線を多重化した高性能の64ビット バスです。PCIバスは、システム装置と周辺装置間に高速のバス（最大528MB/秒）を提供します。Wide Ultra3 SCSIアダプタなどの周辺装置は、PCIバスの高いI/Oパフォーマンスを最大限に利用します。

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタは、32ビット/33MHzまたは64ビット/33MHz PCIスロットでの下位互換性があります。

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタはPCIバス マスタ デバイスで、PCIローカル バス仕様のRev.2.1と2.2に準拠しています。

SCSIコネクタ

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタには、次のコネクタがあります。

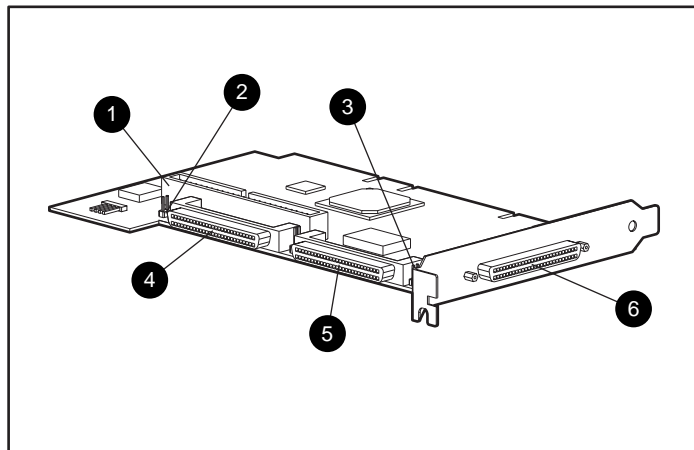


図1-1. シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ

- ❶ J4の内部50ピンNarrow SE SCSI低速コネクタ
(❹と同時に使用不可)
- ❷ J6のTE (終端イネーブル) SECジャンパ (ジャンパに有効)
- ❸ J2のTE (終端イネーブル) PRIジャンパ (オープン)
- ❹ J5の内部68ピンWide SE SCSI低速コネクタ
(❶と同時に使用不可)
- ❺ J3の内部68ピンWide LVD/SE SCSIコネクタ
- ❻ J1の外部68ピンWide LVD/SE SCSIコネクタ

外部コネクタは、スタンダードWide SCSIコネクタです。これらは、スロットパネルに装着され、サーバの背面からアクセスできます。SCSI外部ケーブルをスタンダードWide SCSIコネクタに固定するためのネジロックが用意されています。

重要: SE SCSIデバイスがこのコントローラに接続されている場合、接続されているその他のデバイス (LVDデバイスを含む) は、SEデバイスの低い性能で動作します。

SCSI ID

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタには、1つのSCSIバスがあり、最大15台の周辺装置をサポートします。SCSIバスに内部コネクタと外部コネクタが装備されています。バスの周辺装置には、6～0と15～8の範囲（6が最も優先順位が高く8が最も優先順位が低い）の固有のSCSI IDを設定しなければなりません。周辺装置のSCSI IDはすべて、デバイス自身のスイッチまたはジャンパを使用して手動で設定しますが、ホットプラグ対応ドライブをサポートするコンパック製品の場合は自動的に設定されます。SCSI IDは、SCSIバスにアクセスしようとするときに周辺装置の優先順位を決定します。サーバは、SCSI-3アダプタのIDを7に設定してアダプタに最も高い優先順位を割り当てます。

複数のアダプタのインストール

2枚以上のシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをインストールする場合、次の点にご注意ください。

- 各アダプタごとに、個別のLVDとSEコネクタをもつ1つのSCSIバスがあります。
- 各SCSIアダプタごとに、固有のSCSI IDセット（6から0、15から8）1つをサポートします。バス上の周辺装置ごとに固有のIDを割り当てなければなりません。

SCSIターミネーション

信号の劣化を防止するために、すべてのSCSIバスは、その両端で終端しなければなりません。シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタは、SCSIバスのアダプタ側を終端させます。ホットプラグ対応ドライブには、リボン ケーブルにターミネータは必要ありません。ターミネータはドライブ バックプレーンに付いています。非ホットプラグ対応内蔵ドライブには、リボン ケーブルにターミネータが必要です。コンパック製サーバ内の個々のSCSIデバイスでバスを終端する必要はありません。

Wide Ultra3およびWide Ultra2には、マルチモード ターミネータまたはLVD専用ターミネータ（Wide-Ultra SCSI-3、Fast-Wide SCSI-2、Fast-SCSI-2で使用されるSE専用ターミネータではなく）が必要です。

外部SCSIバスも終端させなければなりません。この終端は、コンパック製の外付ストレージ システム内で提供されます。コンパック製ストレージ システム内の個々のSCSIデバイスでバスを終端する必要はありません。



注意: 起動時にエラー メッセージが表示されないように、サーバのシステム ボード上にある内蔵SCSIコントローラを必ず終端させてください。内蔵コントローラをシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタと交換する場合、終端されたSCSIRibbon ケーブルに接続するSCSIデバイスがない場合でも、必ず、このケーブルをシステム ボードに接続したままにしておいてください。

SCSIケーブル

ケーブル接続を必要とするコンパック製サーバ製品には、ケーブルが同梱されています。追加のケーブルが必要な場合、またはケーブルがサーバ製品に同梱されていない場合、最寄りのコンパック製品販売店またはコンパック正規保守サービス会社にご注文いただけます。外部ケーブルのオプション キットの製品番号は、次の表1-1を参照してください。

表1-1
コンパック製外部ケーブル オプション キットの製品番号

ケーブル オプション キット	製品番号	代わりの製品番号
ワイド/VHDCI SCSIケーブル (6フィート)	341176-B21	295644-B21
ワイド/VHDCI SCSIケーブル (12フィート)	341177-B21	295645-B21
ワイドSCSI-ワイドSCSI 6フィート	313375-001	
ワイドSCSI-ワイドSCSI 12フィート	313375-002	

注: 内蔵68ピン-50ピンSCSIアダプタ (製品番号199618-001) も販売されています。

必要なケーブルのオプション キットの製品番号がここに示されていない場合、また注文に関する追加情報が必要な場合は、最寄りのコンパック製品販売店またはコンパック正規保守サービス会社にお問い合わせください。

SCSIケーブルのコネクタ

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをさまざまなドライブ構成のコンパック製サーバにインストールするために必要なSCSIケーブルを識別するには、図1-2を参照してください。

各SCSIケーブルには次のような特徴があります。

- 外部VHDCIケーブルのコネクタは固定可能で、丸いワイヤ ケーブルが付いています。ヘッド コネクタは68ピン外部Wide SCSIコネクタ ヘッドよりも小さくなっています。
- SCSI内部ケーブルのコネクタはプッシュオン式で、平たいリボン ワイヤ ケーブルが付いています。
- Wide Ultra2 SCSI、Wide-Ultra SCSI-3、Fast-Wide SCSI-2内部 68 ピンWide SCSIリボン ケーブルの幅は、Fast-SCSI-2 (50ピンSCSI) ケーブルよりも狭くなっています。
- コンパック製のSCSIケーブルには、取り付け方向を間違えないようにキーが付いています。

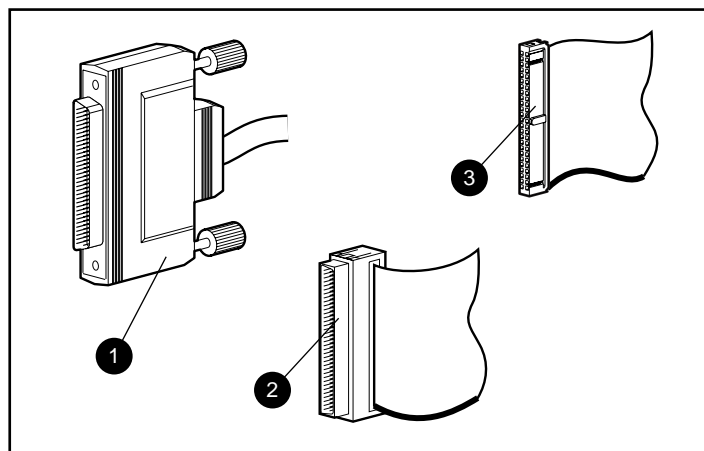


図1-2. SCSIケーブル コネクタの例

- ❶ 外部68ピン Wide SCSIコネクタ
- ❷ 内部68ピン Wide SCSIコネクタ
- ❸ 内部50ピン Narrow SCSIコネクタ

第2章

Compaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタのインストール

この章では、Compaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをコンパック製のサーバにインストールする手順について説明します。



警告: 高電圧による感電の危険を防止するために、この装置のインストールは、必ず、コンパック正規保守サービス会社にご依頼ください。インストールを開始する前に、コンピュータに付属の安全上の注意事項およびユーザドキュメンテーションを参照してください。

多くのサーバで、危険な高電圧が発生する可能性があります。修理をする場合は、サービス認定を受けたコンパック製品販売店またはコンパック正規保守サービス会社におまかせください。感電の危険を防止するためにカバーやインターロックが取り付けられている場合は、カバーを取り外したり、インターロックを無効にしたりしないでください。

必要な工具

- トルクス ドライバ (T-15)
- Compaq SmartStart and Support Software CD
- サーバに同梱のマニュアル

サーバの準備

以下の一般的なガイドラインに従って、シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをインストールするためにサーバを準備してください。



警告: ラックに設置されている装置で作業を行う場合、作業を開始する前に装置とラックが安定していることを確認してください。

以下の手順に従って、サーバを準備してください。

1. システムを通常どおりにシャットダウンします。
2. サーバの電源を切ります。
3. サーバに接続されているすべての周辺装置の電源を切ります。
4. コンセントから電源コードを抜き取ったあと、サーバからも抜き取ります。
5. サーバに接続されているすべての周辺装置を取り外します。

サーバのカバーを開ける

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをインストールする前に、サーバのカバーを開けてPCIバス拡張スロットにアクセスしなければなりません。サーバのカバーの開け方とPCIスロットにアクセスする手順については、サーバに同梱されているマニュアルを参照してください。

PCIスロットにアクセスした後、次の「シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSI アダプタのインストール」の項に進んでください。

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタのインストール

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをコンパック製サーバにインストールするには、以下のガイドラインに従ってください。



警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、システムの内部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意: 静電気放電（ESD）によって電子部品が損傷する場合があります。必ず、正しくアースを行ってからこの手順を開始してください。ESDについては、付録Bを参照してください。

1. PCIバス拡張スロットの位置を確認します。これらの各スロットの位置については、サーバに同梱されているマニュアルを参照してください。
2. ご使用のサーバのモデルに応じて、固定ネジを取り外すか、またはPCIスロットを固定している拡張スロットのラッチを開けます。
3. スロット カバーをPCIスロットから取り外します（この保護カバーは、スロットが再度空いた場合に使用するために保管しておいてください）。
4. アダプタをPCIスロットに差し込んでしっかりと押し込みます。必ず、アダプタの端にある接点をシステム ボードのコネクタに完全に押し込んでください。
5. ご使用のサーバのモデルに応じて、固定ネジを元に戻すか、またはスロットのラッチを閉じてアダプタを固定します。

アダプタを他のデバイスに接続するには、次の「シングル チャネル 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの接続」の項に進んでください。

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの接続

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタを外付SCSIデバイス（外部装置内）または内蔵SCSIデバイス（サーバ内）に接続できます。以下では、外部接続と内部接続の両方の場合のケーブルの接続方法について説明します。

重要: 同じSCSIバス上のSCSIデバイスはすべて（CD-ROMドライブを除く）、サーバに内蔵であるか、または外付ストレージ システム内になければなりません。ただし、両方を同時に接続することはできません。内蔵SCSIデバイスと外付SCSIデバイスの両方を使用する場合、タイプごとに別々のポートに接続してください。

外部SCSI接続

サーバに外付けされているSCSIデバイスにシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSI アダプタを接続するには、SCSI外部ケーブルが必要です。

2-4 Compaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ インストレーション ガイド

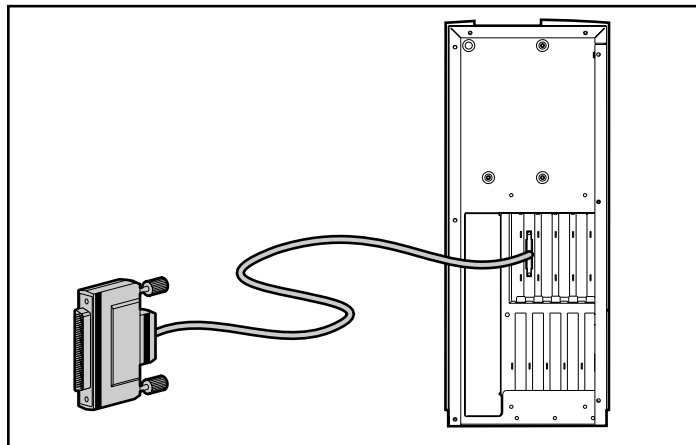


図2-1. コンパック製サーバでのSCSI外部ケーブルの接続

Wide Ultra3 SCSI周辺装置に接続するには、スタンダードWide SCSI-Wide SCSIケーブルを使用します。

このケーブルが、コンパック製外付SCSIデバイスに同梱されていない場合、最寄りのコンパック製品販売店から入手できます。ご使用のサーバに合ったケーブルの注文方法については、第1章の「SCSIケーブル」の項を参照してください。

ケーブルを接続するには、以下のガイドラインに従ってください。

1. 周辺装置に同梱されているマニュアルの指示に従って、ケーブルの該当する側を外付デバイスに接続します。必ず、つまみネジをしっかりと締めてください。
2. ケーブルをアダプタに接続して、つまみネジをしっかりと締めます。

ケーブルの接続が完了したら、この章の「インストールの完了」の項に進んでください。

内部SCSI接続

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタを内蔵SCSIデバイスに接続するには、この項の説明を参照してください。最も一般的なケーブルの接続例は、以下のとおりです。

- ハードディスク ドライブまたはその他のデバイスが別々のSCSIバスにある場合
- 内蔵SCSIコントローラをシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタと交換する場合
- 追加の内蔵SCSIデバイスを接続する場合



注意: サーバにWide Ultra3 SCSIアダプタが内蔵されている場合、起動時にエラー メッセージが表示されないように、コントローラを必ず終端させてください。

重要: LVDモード (Wide Ultra3) で動作させるには、リボン ケーブルなどのすべてのコンポーネントがLVD対応でなければなりません。

ハードディスク ドライブまたはその他のデバイスが 別々のSCSIバスにある場合

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタを使用してサーバ内の1台以上のデバイスに別々のSCSIバスを提供する場合、以下のガイドラインに従ってください。

SCSIバスを追加するには、ご使用のサーバのモデル専用のSCSI内部ケーブルが必要となる場合があります。追加のケーブルが必要かどうかを確認するには、サーバに同梱されているマニュアルを参照してください。ケーブルがシステムに同梱されていない場合、最寄りのコンパック製品販売店から入手することができます。ケーブル オプション キットの製品番号等については、第1章の「SCSIケーブル」の項を参照してください。

1. 新しいSCSIバスに移したいデバイスを既存のSCSIバスから取り外します。
2. SCSIデバイスをインストールします。
3. SCSIケーブルを確認します。ケーブルの一方の端をシングル チャネル 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの該当するコネクタに接続します。

重要: 同じポートからのSCSIケーブルを内部コネクタと外部コネクタの両方に接続しないでください。サーバ内でSEデバイスとLVDデバイスの両方を使用する場合、デバイスごとに別々のポートを使用してください。

ケーブルの接続について詳しくは、この章の「シングル チャネル 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの接続」を参照してください。

4. 1台以上のデバイスのコネクタをSCSIデバイスまたはバックプレーンのコネクタに接続します。

この章の「インストールの完了」の項に進んでください。

内蔵SCSIコントローラをシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタと交換する

内蔵SCSIコントローラをシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタと交換する場合、次のガイドラインに従ってください。

1. 元のSCSIケーブルをシステム ボードから抜き取ります。
2. SCSIケーブルをシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの該当するコネクタに接続します。

重要: SCSIデバイスをこのコントローラに接続すると、次の2つの主な制限が生じます。

- コネクタJ1およびJ3は、LVDとSE SCSIデバイスのどちらでも使用できます。ただし、SEデバイスを接続すると、同じコントローラに接続されているすべてのLVDデバイスの速度は、SEデバイスの速度に低下します。
 - コネクタJ4およびJ5は、SEデバイスのみが使用できます。この2つのコネクタは、同時に使用できません。
-

ケーブルの接続について詳しくは、この章の「シングル チャネル 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの接続」を参照してください。

3. ご使用のサーバまたはワークステーションのモデルによっては、サーバ内の別のコンポーネントにケーブルを留めて固定しなければならない場合があります。内部ケーブルの接続手順については、システムのマニュアルを参照してください。

以上で、シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタは、内蔵SCSIデバイスをサポートします。システム ボード上の内蔵コントローラを使用して他のSCSIデバイスをサポートすることができます。他のSCSIデバイスをサポートするのに内蔵コントローラを使用していない場合は、コントローラは終端してください。

この章の「インストールの完了」の項に進んでください。

追加の内蔵SCSIデバイスを接続する

SCSIデバイスをシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタに接続するには、次のガイドラインに従ってください。この手順を実行するには、シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタに接続するデバイスの種類に適した追加のSCSIケーブルを注文する必要があります。ご使用のサーバに合ったケーブルの注文方法については、第1章の「SCSIケーブル」の項を参照してください。

1. 追加のSCSIデバイスをサーバにインストールします。インストール手順については、システムに同梱されているマニュアルを参照してください。

2. 新しいケーブルをシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの該当するコネクタに接続します。
3. サーバのマニュアルで説明されている手順に従ってケーブルを配線します。
4. ケーブルをSCSIデバイスに接続します。

インストールの完了

ケーブルの配線と接続がすべて完了したら、以下のガイドラインに従ってサーバを元に戻します。

1. すべてのケーブルが正しく配線され、絡んでいないこと、他のコンポーネントにはさまっていないことを確認します。ご使用のモデルのケーブルの接続手順については、サーバのマニュアルを参照してください。
2. 周辺装置をサーバに接続します。
3. 電源コードをサーバに接続した後、アース付きコンセントに接続します。
4. サーバに接続されているすべての周辺装置の電源を入れます。
5. サーバの電源を入れます。
6. Compaqシステム コンフィギュレーション ユーティリティを実行して、システムが新しいSCSIアダプタの設定を認識できるようにします。このユーティリティは、System Configurationディスクット、Compaq SmartStart and Support Software CDまたはハードディスク ドライブ（起動用のハードディスク ドライブのシステム パーティションにあらかじめインストールされている場合）から実行することができます。

ファームウェアの更新とドライバのインストール

プロセッサとシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタが正しく動作するようにするには、サーバにソフトウェア ドライバをインストールする必要があります。

一部のコンパック製サーバでは、シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの新機能を活用するためにシステムROMのファームウェアを更新しなければなりません。サーバのROMを最新バージョンにするためにSystem ROMPaqユーティリティを実行することをおすすめします。詳細については、第3章の「システムROMの更新」の項を参照してください。

「第3章 ファームウェアとソフトウェアのインストール」を参照して、ご使用のオペレーティングシステムに必要なドライバをインストールしてください。

第3章

ファームウェアおよびソフトウェアのインストール

この章では、次のオペレーティング システムを使用するサーバでCompaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタを設定するためのドライバのインストール手順の概要について説明します。

- Microsoft Windows NT 3.51および4.0
- Microsoft Windows 2000
- SCO UnixWare 7.x
- SCO OpenServer 5
- Novell NetWare 5.1
- IBM OS/2

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをサーバにインストールした後で、システムROM（必要な場合）を更新して、オペレーティング システム用のドライバをインストールしなければなりません。これについては、この章の手順に従ってください。

システムROMの更新

システムROMは、System ROMPaqと呼ばれる特別なコンパック製ユーティリティを使用してROMをフラッシュすることによって更新できます。System ROMPaqは、ROMの現在の内容をディスク ファイルに保存された最新バージョンのROMと交換します。System ROMPaqを実行するには、以下の手順に従ってください。

ROMPaqディスク

ROMPaqユーティリティは、ディスクから実行しなければなりません。シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタのオプション キットに入っているCompaq SmartStart and Support Software CDから最新バージョンのROMPaqディスクを作成することができます。オプション キットに入っているROMPaqは、新しいシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをサポートする最新バージョンのROMPaqであるため、最初にこのROMPaqを使用してください。

必要な品目

ROMPaqユーティリティのディスクを作成するには、以下の品目が必要です。

- Compaq SmartStart and Support Software CD (シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタのオプション キットに入っているもの)
- 空のディスク1枚
- ブート可能なCD-ROMドライブを装備したサーバ

ディスクの作成

ROMPaqディスクを作成するには、以下の手順に従ってください。

1. サーバをCompaq SmartStart and Support Software CDから起動します。
2. [Compaqシステム ユーティリティ]画面から[サポート ソフトウェアの作成]を選択します。
3. [Diskette Builder]画面から、ご使用のサーバに合ったオプションを選択します。
4. 画面上の指示に従って、ROMPaqディスクを作成します。

System ROMPaqの実行

コンパック製サーバのファームウェアを更新するには、System ROMPaqを使用します。シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタはドライブアレイ機能が拡張されているため、既存の多くのサーバでは、ファームウェアを更新しないとこれらの機能を利用できない可能性があります。ファームウェアの更新時期を判断するのはむずかしいため、シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをインストールするときにすべてのサーバで最新のSystem ROMPaqを実行することをおすすめします。シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタがすでにインストールされているサーバを購入された場合は、サーバをインストールする際にSystem ROMPaqを実行する必要はありません。

System ROMPaqを実行するには、以下の手順に従ってください。

1. System ROMPaqディスクをサーバのディスク ドライブに挿入します。
2. サーバの電源を入れて起動します。
3. 初期画面で**Enter**キーを押します。
4. [Select A Device (デバイスの選択)]画面で、更新可能なデバイスのリストから[サーバ]を選択します。この項目だけしかリストに表示されない場合があります。 **Enter**キーを押します。
5. [Select An Image (イメージの選択)]画面に、次のように表示されます。

Device to reprogram:	ご使用のサーバ
Current ROM revision:	既存のROMの日付
Select Firmware Images:	最新のROMの日付

Enterキーを押します。

6. [Caution (注意)]画面の情報をよく読みます。

Device to reprogram:	ご使用のサーバ
Current ROM revision:	既存のROMの日付
Selected ROM revision:	インストールする最新のROMの日付

Enterキーを押してシステムROMを更新するか、または**Esc**キーを押して更新を中止し、[Select An Image (イメージの選択)]画面に戻ります。

7. 次のメッセージは、システムROMが更新中であることを示します。

Reprogramming Firmware

重要: このサイクルを中断しないようにしてください。ROMの更新中に電源をしゃ断すると、ファームウェアは認識されない状態のままになります。この状態になると、サーバを起動できなくなる可能性があります。ROMの更新が完了すると、画面に通知されます。

8. ROMPaqがシステムROMの更新を完了したら、**Esc**キーを押してSystem ROMPaqユーティリティを終了します。
9. System ROMPaqディスクを取り出して、サーバの電源をいったん切ってから、再起動します (コールド ブート) 。

まだシングル チャネル 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをインストールしていない場合、ここでインストールできます。ハードウェアのインストールおよびケーブルの接続についての詳細は、このガイドの第2章を参照し、次の「ドライバのインストール」に進んでください。

ドライバのインストール

プロセッサとシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタが正しく動作するようにするには、ソフトウェア ドライバをサーバにインストールしなければなりません。このインストール手順では、シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタおよびオペレーティング システムがすでにインストールされていることを前提とします。インストールするドライバとその手順は、使用するオペレーティング システムによって異なります。オペレーティング システムに適したドライバが格納されている場所と必要なインストール手順については、この項を参照してください。ドライバとサポートマニュアルはすべて、シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタに同梱されているCompaq SmartStart and Support Software CDに入っています。

Windows NT 3.51または4.0

以下の手順に従って、ドライバを、Windows NT 3.51または4.0をすでに実行しているシステムにインストールしてください。ADPU160M.SYSという名前のドライバ ファイルは、新しいシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタに同梱されているCompaq SmartStart and Support Software CDに収録されています。

1. システムのWindows NT 3.51または4.0を起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
2. Compaq SmartStart and Support Software CDを、CD-ROMドライブに挿入します。
3. [スタート]メニューから、[設定]、[コントロール パネル]の順に選択します。
4. [SCSIアダプタ]アイコンをダブルクリックします。
5. [ドライバ]タブを選択し、[追加]をクリックします。
6. [ディスク使用]をクリックし、CD-ROMドライブを示すようにドライブ文字を変更します。
7. 次のディレクトリ ルートにあるドライバ ファイルADPU160M.SYSを選択します。

¥CPQSUPSW¥NTSSD¥SCSI¥160M¥ADPU160M.SYS

8. [OK]をクリックして、インストールするドライバを追加します。
9. [OK]をもう一度クリックし、ドライバをシステムにコピーして、このセットアップを終了します。

Windows 2000

以下の手順に従って、ドライバを、Windows 2000をすでに実行しているシステムにインストールしてください。ADPU160M.SYSという名前のドライバ ファイルは、新しいシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタに同梱されているCompaq SmartStart and Support Software CDに収録されています。

1. システムのWindows 2000を起動し、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
2. Compaq SmartStart and Support Software CDを、CD-ROMドライブに挿入します。
3. [スタート]メニューから、[設定]、[コントロール パネル]の順に選択します。
4. [システム]アイコンを、ダブルクリックします。
5. [ハードウェア]タブをクリックします。

6. [デバイス マネージャ]をクリックして、インストールされているすべてのハードウェア デバイスのリストを表示し、下方向にスクロールして[SCSI とRAIDコントローラ]を選択し、フォルダを開きます。

第2章の説明に従ってSCSIアダプタを正しくインストールした場合、リストに[SCSIコントローラ]が表示されます。

7. [SCSIコントローラ]をダブルクリックします。
8. [SCSIコントローラのプロパティ]画面の[ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。
9. [次へ]をクリックします。
10. [このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する]を選択し、[次へ]をクリックします。
11. [ディスク使用]をクリックし、CD-ROMドライブを示すようにドライブ文字を変更します。
12. 次のディレクトリ ルートにあるドライバ ファイルADPU160M.SYSを選択します。

¥CPQ\$UPSW¥NTSSD¥SCSI¥160M¥ADPU160M.SYS

13. [OK]をクリックして、インストールするドライバを追加します。
14. [次へ]をクリックします。

[Update Driver Warning]画面が表示される場合があります。[はい]をクリックして進みます。

15. コピーしたドライバが表示されます。このドライバを選択し、[次へ]をクリックしてインストールします。
16. [完了]をクリックして、このセットアップを終了します。

SCO UnixWare 7.x

以下の手順に従って、ドライバを、UnixWare 7.xxをすでに実行しているシステムにインストールしてください。ADST70という名前のドライバ ファイルは、HBAドライバが入っているUnixWare 7.xx EFSディスクセットに収録されています。

注: Compaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタを操作するには、SCO UnixWare 7.x用のCompaq Extended Feature Supplement (EFS) バージョン 7.xx以上が必要です。

1. システムを起動し、root権限でログインします。
2. Compaq SmartStart and Support Software CDを、CD-ROMドライブに挿入します。
3. [Diskette Builder]画面で[Compaq SCO UnixWare 7.x EFS]を選択して、EFS バージョン7.xx以上用のディスクセットを作成します。
4. SCO PKGADDユーティリティを使用して、Compaq EFSをディスクセットからインストールします。EFSディスクセットには、オンライン マニュアルも入っています。ドライバ名は、ADST70です。
5. HBAのラベルが付いたEFSドライバを含む作成したディスクセットを、ディスクセットドライブに挿入します。
6. UNIXのコマンドラインで、次のコマンドを入力します。

```
pkgadd -d diskette1 -L
```


メニューに、ディスクセットに入っているすべてのドライバが表示されます。
7. ファイル名ADST70に対応するドライバ番号を入力して、ドライバをインストールします。
8. ディスクセットを取り出し、qとタイプして終了します。
9. init 6とタイプして、システムを再起動します。

SCO OpenServer 5

シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ用のドライバを、SCO OpenServer 5をすでに実行しているシステムにインストールするには、まず、Compaq Extended Feature Supplement (EFS) ディスクセット セットを作成しなければなりません。これらのディスクセットは、EFSをシステムにインストールするために使用されます（必要に応じて、旧バージョンのEFSを削除してから実行します）。

注: Compaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタを操作するには、SCO OpenServer 5用のCompaq Extended Feature Supplement (EFS) バージョン 5.36以上が必要です。

EFSディスクットの作成

EFSディスクットは、Webから作成することも、Compaq SmartStart and Support Software CDから作成することもできます。

- ディスクットをWebから作成する場合、コンパクのWebサイト <http://www.compaq.com/support/files/server/us/index.html>（英語）から、SCO OpenServer 5用の最新のEFSをダウンロードしてください。
- SmartStart and Support Software CDから、ディスクットを作成するには、以下の手順に従ってください。
 1. SmartStart and Support Software CD（バージョン4.80以上）を、CD-ROMドライブに挿入します。このCDは、アプリケーションを自動的に起動します。
 2. [System Utilities]画面で、[OK]をクリックします。
Compaq SmartStart Diskette Builderユーティリティが起動します。
 3. [Compaq Window]を展開して、[Compaq SCO OpenServer 5.0 EFS Version 5.36]（または、これより新しいバージョン）を選択し、次の画面に移動します。
 4. [Create Software Diskettes To Floppy Only]オプションを選択して、画面上の指示に従います。
5枚のディスクットセットが作成されます。
 5. 終了したら[Finish]を選択して、アプリケーションを終了します。

システムに旧バージョンのEFSがインストールされている場合、これを削除してからEFSの新しいバージョンをインストールしなければなりません。次の「旧バージョンのEFSの削除」の指示に従ってください。

システムに別のバージョンのEFSがインストールされていない場合、「新しいEFSのインストール」の項に直接進んでください。

旧バージョンのEFSの削除

1. rootで、ログインします。
2. /etc/shutdown -g0 -yと入力して、システムをシャットダウンします。
3. [Safe to Power Off]メッセージで、**Enter**キーを押します。
4. システムが再起動したら、次のメッセージが表示されます。
Press <Ctrl>+<d> or enter the root password.
rootのパスワードを入力して、システム メンテナンス モードを開始します。
5. /etc/customとタイプして、**Enter**キーを押します。
メイン カスタム メニューが表示されます。

3-8 Compaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ インストールेशन ガイド

6. **Tab**キーを押して、ソフトウェアの選択項目を強調表示し、矢印キーを使用して[Compaq Extended Feature Supplement]を強調表示します。**Enter**キーを押します。
7. **Tab**キーを押して、メニュー バーに戻ります。[Software]を選択して**Enter**キーを押します。
8. [Remove Software]を選択して、**Enter**キーを押します。
9. すべてのパッケージの削除を確認するように指示されます。[Remove]を選択して、**Enter**キーを押します。
10. EFSパッケージがすべて削除されたら、カーネルが再びリンクされたことを示すメッセージが表示されます。**Enter**キーを押して続けます。
11. [Removal Complete]のメッセージで、**Enter**キーを押して続行します。
12. 以下の手順に従って、インストール手順を終了します。
 - a. [Host]を選択して**Enter**キーを押します。
 - b. [Exit]を選択して**Enter**キーを押します。
13. 次の項の手順5に進み、新しいバージョンのEFSをインストールします。



警告: 新しいバージョンのEFSをインストールする前に、システムを再起動しないでください。次の項の最初の4つの手順は省略してください。

新しいEFSのインストール

1. rootで、ログインします。
2. /etc/shutdown -g0 -yと入力して、システムをシャットダウンします。
3. [Safe to Power Off]メッセージで、**Enter**キーを押します。
4. システムが再起動したら、次のメッセージが表示されます。

Press <Ctrl>+<d> or enter the root password.

rootのパスワードを入力して、システム メンテナンス モードを開始します。
5. /etc/customとタイプして、**Enter**キーを押します。

メイン カスタム メニューが表示されます。
6. [Software] (メニュー バー上) を選択して**Enter**キーを押します。
7. [Install New]を選択して、**Enter**キーを押します。
8. どのホストからインストールするかを質問されます。ローカル ホストを選択して、**Enter**キーを押します。

注: ローカル ホストだけがサポートされています。

9. Compaq EFS for SCO OpenServer Release 5のディスクVolume 1を、ディスクドライブに挿入します。
10. [Continue]を選択して、**Enter**キーを押します。
EFSの初期画面が表示されます。各EFSコンポーネントのインストール中、タイトルの下にコンポーネントが表示されます。
11. メッセージが表示されたら、インストールされた各ネットワーク コントローラのIPアドレス、ブロードキャスト アドレス、およびネットワーク マスクを入力します。
12. メッセージが表示されたら、Compaq EFS for SCO OpenServer Release 5のディスクVolume 2を、ドライブに挿入して**Enter**キーを押します。
13. ドライバとユーティリティのインストールが終了したら、次のメッセージが表示されます。

During this installation, the kernel was relinked.

このカーネルを有効にするために、システムを再起動する必要があります。
Returnキーを押して続けます。
14. Installation Completeのメッセージが表示されたら、**Return**キーを押します。
再構築が終了したら、[All Software On...]リストにEFSが表示されます。
15. 以下の手順に従って、インストール手順を終了します。
 - a. [Host]を選択して**Enter**キーを押します。
 - b. [Exit]を選択して**Enter**キーを押します。
16. #プロンプトで、rebootと入力します。

Novell NetWare 5.1

この項では、シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ用のドライバを、Novell NetWare 5.1をすでに実行しているシステムにインストールする方法について説明します。*ADPT160M.HAM*という名前のドライバ ファイルは、SmartStart and Support Software CDの次のサブディレクトリにあります。

¥CPQSUPSW¥NSSD¥NWPA

以下の手順に従って、ドライバ*ADPT160M.HAM*およびファイル*ADPT160.DDI*を、SmartStart and Support Software CDから、NetWare 5.1を実行するシステムにインストールしてください。

1. downコマンドを使用して、サーバの電源を切ります。
2. システムに電源を入れ、NetWare 5.1を起動します。

3-10 Compaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ インストール ション ガイド

3. SmartStart and Support Software CDを、CD-ROMドライブに挿入します。
4. 次のファイルを、サブディレクトリ¥CPQSUPSW¥NSSD¥NWPAから、システムのNetWareディレクトリにコピーします。

ADPT160.HAM

ADPT160.DDI

5. CDを取り出し、システムをシャットダウンします。
6. Compaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをインストールします。
7. システムに電源を入れ、NetWare 5.1を起動します。

NetWareは、新しいアダプタを検出して、ドライバをロードしようとします。

8. 画面上の指示に従って、ドライバ*ADPT160.HAM*をロードします。
9. ドライバのリストが表示されたら、ドライバを選択し**Esc**キーを押してロードします。

注: この画面には、**Esc**オプションは表示されませんが、ドライバをロードするには、**Esc**キーを使用しなければなりません。**Enter**キーを押しても、ドライバはロードされません。

IBM OS/2

以下の手順に従って、シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ用のドライバを、IBM OS/2をすでに実行しているシステムにインストールしてください。*AICU160.ADD*という名前のドライバ ファイルは、新しいシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSI アダプタに同梱されているSmartStart and Support Software CDに収録されています。

1. SmartStart and Support Software CD (バージョン4.80以上) を、CD-ROMドライブに挿入して、システムを再起動します。このCDで、アプリケーションは、自動的に起動します。
2. [System Utilities]画面で、[OK]をクリックします。
3. [Create Software Diskettes From CD Only]オプションを選択して、次の画面に移動します。
4. [Compaq OS/2 Support Software - 4.50A Or Later Version]を選択して、次の画面に移動します。
5. [Create Software Diskettes To Floppy Only]オプションを選択します。その後、[Please Insert Diskette 4 Of 5...]と指示する画面が表示されるまで、画面を次々にクリックしていきます。

6. フォーマット済みの1.44MBディスクを、ディスク ドライブに挿入して[OK]をクリックします。シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ コントローラに関連するドライバが、ディスクにコピーされます。
7. 完了したら、[Finish]をクリックします。
8. アプリケーションを終了します。
9. ディスケット4を、ディスク ドライブに挿入します。
10. コマンド プロンプトで、ddinstalとタイプします。
11. ソース ディレクトリとして、[A:¥ADD]を選択し、[Install]を選択します。
12. [Compaq Adaptec SCSI Driver for OS/2]を選択し、次に進みます。これによって、選択したドライバがインストールされます。
13. ドライバのインストールが終了したら、システムを再起動します。
14. システムをもう一度再起動して、AICU160.ADDドライバをロードします。

付録A

規定に関するご注意

ご使用になっている装置にVCCIマークが付いていましたら、次の説明文をお読みください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCIマークが付いていない場合には、次の点にご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

各国別勧告

以下に日本以外の国や地域での規定を掲載します。

Federal Communications Commission Notice (米国)

Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) Rules and Regulations has established Radio Frequency (RF) emission limits to provide an interference-free radio frequency spectrum. Many electronic devices, including computers, generate RF energy incidental to their intended function and are, therefore, covered by these rules. These rules place computers and related peripheral devices into two classes, A and B, depending upon their intended installation. Class A devices are those that may reasonably be expected to be installed in a business or commercial environment. Class B devices are those that may reasonably be expected to be installed in a residential environment (that is, personal computers). The FCC requires devices in both classes to bear a label indicating the interference potential of the device as well as additional operating instructions for the user.

The rating label on the device shows which class (A or B) the equipment falls into. Class B devices have an FCC logo or FCC ID on the label. Class A devices do not have an FCC logo or ID on the label. Once the class of the device is determined, refer to the following corresponding statement.

Class A Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at personal expense.

Class B Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Declaration of Conformity for Products Marked with FCC Logo, United States only

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. For questions regarding this declaration, contact:

Compaq Computer Corporation
P. O. Box 692000, Mail Stop 510101
Houston, Texas 77269-2000

Or call (281)514-3333

To identify this product, refer to the Series number found on the product.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Compaq Computer Corporation may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods in order to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Canadian Notice (Avis Canadien) **(カナダおよびカナダ、フランス語使用地域)**

Class A Equipment

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Class B Equipment

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Union Notice (欧州)

Products with the CE Marking comply with both the EMC Directive (89/336/EEC) and the Low Voltage Directive (73/23/EEC) issued by the Commission of the European Community.

Compliance with these directives implies conformity to the following European Norms (in brackets are the equivalent international standards):

- EN55022 (CISPR 22) - Electromagnetic Interference
- EN50082-1 (IEC801-2, IEC801-3, IEC801-4) - Electromagnetic Immunity
- EN60950 (IEC950) - Product Safety

Taiwanese Notice (台湾)

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

付録B

静電気対策

システムのセットアップを行ったり、部品を取り扱う場合、システムの損傷を防ぐために従わなければならない注意事項があることに注意してください。人間の指などの導電体からの静電気放電によって、システム ボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防止するために、以下の注意事項を守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごと、アースされている面に置きます。
- ピン、リード線、回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、つねに自分の身体に対して適切なアースを行います。

アースの方法

アースを取る方法はいくつかあります。静電気に弱い部品を取り扱うときは、以下の方法でアースを行ってください。

- 静電気放電用のアース バンドを手首に巻き、アースされたコンピュータ本体に接続します。アース バンドは柔軟な帯状のもので、アース コードは、少なくとも1M \pm 10%の抵抗のものを使用します。正しくアースされるよう、アース バンドは手首にしっかりと巻き付けてください。
- 据置型のコンピュータを扱うときは、かかとやつま先にアース バンドを巻きます。導電性の、または摩擦による静電気が起こりやすい床で作業するときは、両足にアース バンドを巻いてください。
- 工具は導電性のものを使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットなどの入った携帯式作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がないときは、コンパック製品販売店またはコンパック正規保守サービス会社にお問い合わせください。

重要: 静電気について詳しくは、コンパック製品販売店またはコンパック正規保守サービス会社にお問い合わせください。

索引

C

Compaqシステム コンフィギュレーション ユーティリティ 2-7

E

EFS
旧バージョンの削除 3-7
EFSディスクット
 UnixWare 7.x 3-6
 OpenServer 5 3-6

I

IBM OS/2
 ドライバ 3-10

L

LVDデバイス 1-3

M

Microsoft Windows 2000
 ドライバ 3-5
Microsoft Windows NT
 ドライバ 3-4

N

Novell NetWare 5.1
 ドライバ 3-9

O

OpenServer 5
 ドライバ 3-6

P

PCI 1-1
PCIバス マスタ 1-2
PCIローカル バス 1-2

R

RJ-45コネクタ vii
ROM
 更新 3-1
ROMPaq
 実行 3-2
 ディスクットの作成 3-2

S

SCO OpenServer 5
 ドライバ 3-6
SCSI
 外部コネクタ 1-3
SCSI ID
 アダプタ 1-4
 周辺装置 1-4
 バスの優先順位 1-4
SCSIデバイス
 Fast-SCSI-2 1-1、1-2
 Fast-Wide SCSI-2 1-1、1-2

ケーブル 「ケーブル」を参照
サポート 1-1
終端 1-4
タグ付きコマンド キューイン
グ 1-2
SCSIバス
追加 2-5
SEデバイス 1-3
System ROMPaq
実行 3-2
ディスクットの作成 3-2
System ROMPaqの実行 3-2

U

UnixWare 7.x
ドライバ 3-6

W

Windows 2000
ドライバ 3-5
Windows NT
ドライバ 3-4
Windows NT 3.51
ドライバ 3-4

あ

アースの方法 B-2
アダプタの交換 2-6

い

インストール
シングル チャネル64Bit/66MHz
Wide Ultra3 SCSIアダプタ
手順 2-2
必要な工具 2-1
ドライバ 2-7、3-4
UnixWare 7.x 3-6
Windows NT 3.51 3-4
複数のアダプタ 1-4
インストールの完了 2-7

お

オペレーティング システム
UnixWare 7.x 3-6

Windows NT 3.51 3-4
ドライバ 3-4

か

外部コネクタ 1-2、1-6

き

規格 1-2
規定に関するご注意
Canadian Notice (Avis Canadien)
(カナダおよびカナダ、フ
ランス語使用地域) A-4
European Union Notice (欧州)
A-5
Federal Communications
Commission Notice (米国)
A-2
Taiwanese Notice (台湾) A-5
旧バージョンのEFSの削除 3-7

け

警告
インストール手順 2-1
感電 viii
ケーブル
オプション キットの製品番号
1-5
識別 1-6
終端 1-4
接続 2-3
注文 1-5
ケーブル接続 2-3
外部SCSI接続 2-3
シングル チャネル64Bit/66MHz
Wide Ultra3 SCSIアダプタ
2-3
シングル チャネル64Bit/66MHz
Wide Ultra3 SCSIアダプタ
図 2-3
内部SCSI接続 2-4
ケーブルの注文 1-5

こ

更新

- システムROM 2-7
- ファームウェア 2-7

コネクタ

- Fast-Wide SCSI-2 1-6
- SCSIケーブル 1-6
- Wide Ultra2 SCSI 1-6
- Wide-Ultra SCSI-3 1-6
- 外部 1-2、1-6
- 内部 1-2、1-6

コンパック カスタマーセンター

viii

コンパックのWebサイト viii

さ

サーバ

- カバーを開ける 2-2
- 準備 2-2

サーバのカバーを開ける 2-2

サーバの準備 2-2

し

終端、SCSIデバイス 1-4

シングルエンド デバイス 「SEデバイス」を参照

シングル チャネル64Bit/66MHz

Wide Ultra3 SCSIアダプタ

インストール 2-1

規格 1-2

ケーブル接続 2-3

定義 1-1

データ転送速度 1-1

特長 1-1

す



- コンパック製サーバでのSCSI外部ケーブルの接続 2-4

そ

装置の記号 vii

速度、データ転送 1-1

た

タグ付きコマンド キューイング 1-2

ち

注意

- SCSIケーブルの終端 1-5、2-5
- アース 2-2
- 静電気放電 2-2

つ

追加の内蔵SCSIデバイスを接続 2-6

て

定義

- シングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ 1-1

ディスクットの作成

- OpenServer 5用のEFS 3-7
- ROMPaq 3-2
- UnixWare 7.x用のEFS 3-6
- Windows NT 3.51ドライバ 3-4
- 必要な品目 3-2

低電圧ディファレンシャル デバイス 「LVDデバイス」を参照

データ転送速度 1-1

と

特長 1-1

ドライバ

インストール 3-4

ドライバのインストール

- UnixWare 7.x 3-6
- Windows NT 3.51 3-4

4 Compaqシングル チャネル64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ インストレーション ガイド

な

内蔵SCSIデバイスの追加 2-6

内部コネクタ 1-2、1-6

ひ

表記上の規則 vi

ふ

ファームウェア

更新 2-7

複数のアダプタ、インストール 1-4

へ

別々のSCSIバス 2-5

追加 2-5

ヘルプ情報

最新情報 viii

入手方法 viii

ほ

本文中の記号 vii